



応援します！家族責任を持つ女性研究者

森林総合研究所 エンカレッジモデル FFPRI Encourage Model



森林総合研究所は、文部科学省科学技術振興調整費女性研究者支援モデル育成事業「応援します！家族責任を持つ女性研究者」（平成19～21年度）が採択されたのを契機に、男女共同参画室を新たに設置し、男女共同参画の推進とワーク・ライフ・バランスの実現を目指して、エンカレッジプログラムを進めています。



職員構成：研究職483(50)名(10%)、一般職827(86)名、技術専門職25名、計1335(136)名（）内は女性
沿革：明治38年農商務省山林局林業試験場として目黒に発足、昭和58年つくばに移転、同63年森林総合研究所に名称変更、平成13年独立行政法人となる。同19年林木育種センターと統合、同20年森林農地整備センターを承継。

男女共同参画とワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組み

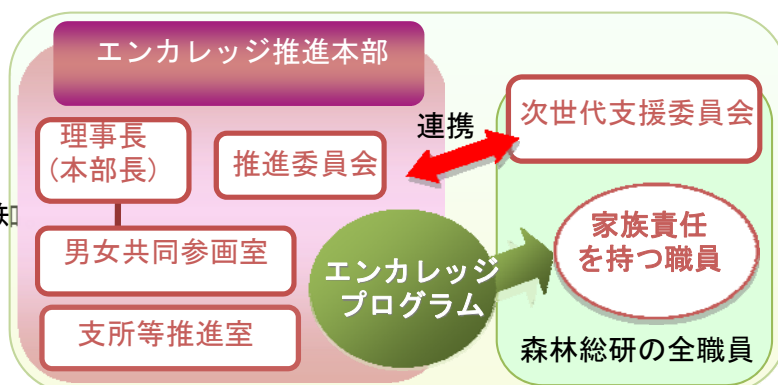
1. 推進体制の整備

19年度実績

- ・実施体制の整備、男女共同参画室の設置

20年度計画

- ・育児関連の各種制度のガイドブックの作成と周知
- ・裁量労働制(研究職)の導入検討
- ・支所等推進室員の配置
- ・各種研修での男女共同参画意識の啓発



▲エンカレッジ推進体制

2. 育児・介護サポートシステムの整備

19年度実績

- (1) 一時預かり所内保育の検討
 - ・所内保育室開設の検討、・保育・介護等地域情報の収集・提供(HP)
- (2) 育児・介護責任を持つ研究者に対する研究支援
 - ・PC・ソフトウェアの貸与、支援者雇用等
 - ・自宅からの文献複写等のマニュアル整備



▼平成19年度研究支援状況

	女性		男性		計
	育休	他	育休	他	
PC貸与	4	5	1		10
研究用ソフト貸与	4	6	2		12
研究補助員	3	4		1	8
委託分析作業	1	1			2

20年度計画

- (1) 一時預かり所内保育
 - ・所内保育室(本所、関西支所)の開設
 - ・保育室の運営と責任体制の整備
 - ・本所、関西支所以外の組織でのサポート体制の検討
 - ・保育・介護等地域情報の整備・提供
- (2) 育児・介護責任を持つ研究者に対する研究支援(継続)

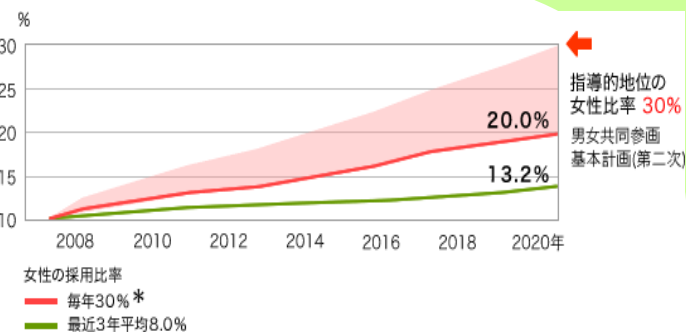


応援します！家族責任を持つ女性研究者



エンカレッジプログラムの達成目標 (ミッションステートメント)

- 裁量労働制の採用(研究職)を実現
- 出張・転勤、緊急時のサポート体制の100%整備(本支所)
- IT環境の100%整備(本～支所間、研究所～自宅間)
- 応募者・採用者の女性比率を30%に→
関連大学の女子学生比率と同等に
- 家族責任が原因となる中途退職者ゼロに



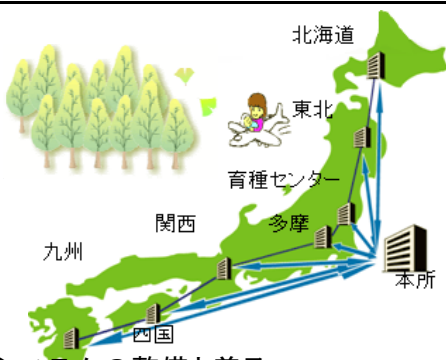
3. IT環境の整備

19年度実績

- ・TV会議システムの導入
(本所～支所等間) 18回使用
- ・Webミーティングシステムの導入
(研究所～自宅間) 6回使用

20年度計画

- ・TV会議システムとWebミーティングシステムの整備と普及



▲TV会議による委員会

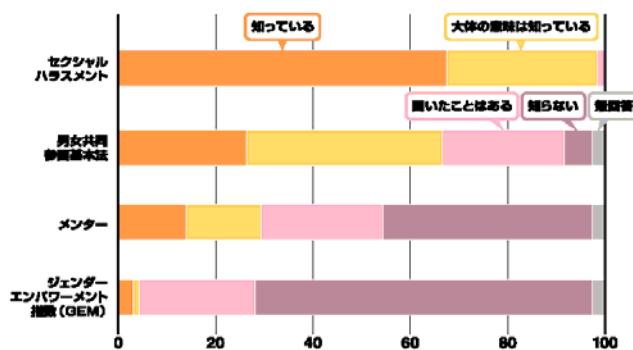
4. 次世代研究者育成支援

19年度実績

- (1) 意識啓発(所内向け)
 - ・男女共同参画意識調査
 - ・所内説明会、推進セミナー開催
- (2) 社会発信
 - ・第1回公開シンポジウム開催(1/28)他
- (3) 次世代育成(他機関との交流と制度改善)
 - ・他機関への訪問・見学・情報交換(12カ所)
 - ・他機関のシンポジウム・セミナーに参加(7カ所)
 - ・採用公募書類に「家族責任による研究中断期間の経歴」の明記を追加(H20～)



男女共同参画に関する単語を 知っていますか？



▲所内男女共同参画意識調査(2008.9)

20年度計画

- ・意識調査集約・報告書の作成
- ・第2回所内エンカレッジ推進セミナー
- ・第2回公開シンポジウム
- ・所内新採研修に男女共同参画のレクチャーを新設(H20～)
- ・産総研DSO(ダイバーシティサポートオフィス)への参画
(女性職員啓発セミナー、キャリアカウンセリングなど)



▲公開シンポジウム(2008.1.28)



お問い合わせ



男女共同参画室
FFPRI GEO Gender Equality Office

TEL 029-829-8360, FAX 029-874-8507
URL: <http://encr.ffpri.affrc.go.jp/>

ワーク・ライフバランスを確立し、魅力あふれる研究所をめざします！ 2008